

## 平戸市黒子島の植物

中西弘樹<sup>1)</sup>・小林 業<sup>1)</sup>

Flora and vegetation on Kurokojima Island, Hirado City, Nagasaki Prefecture

Hiroki NAKANISHI<sup>1)</sup> and Hajime KOBAYASHI<sup>1)</sup>

### はじめに

黒子島は平戸の町のすぐ沖にある小島で、全島がスダジイやタブノキなどの照葉樹自然林に被われ、昭和26年に国指定の天然記念物に指定されている。この島のフロラについては外山(1970; 1980)や伊藤・川里(1984)、それを再録した伊藤・真辺(1992)などがある。

筆者らは2007年5月にキノクニスゲの分布調査のために、黒子島を訪れた。同時に本島のフロラと植生の調査を行い、いくつかの新知見を得たので報告する。本島の上陸については、平戸市教育委員会文化交流課加藤有重氏にお世話になった。厚くお礼申し上げます。

### 地理的特徴

黒子島は九州本土と平戸島の間の海峡、すなわち平戸瀬戸の北部に位置し、長さ約300m、



図1. 黒子島全景

幅は最も広いところで約120mの長楕円形をした小島で、最高地点は35mである。島の周囲は流れが早いので、浜はほとんどなく、小さな崖となり、すぐ森林に被われている(図1)。島の南西端は神社があり、その前面にわずかに人為の影響を受けた草本群落と礫浜がある。

### 植 生

全島タブノキ、スダジイ、ホルトノキなどによって被われた照葉樹林となっている。亜高木層はヤブツバキ、イヌビワ、イヌマキ、ヤブニッケイなど、低木層はアオキが優占している。草本層はノシラン、フウトウカズラ、ムサシアブミ、ソナレアマチャズル、テイカカズラ、ナンゴクウラシマソウ、キノクニスゲなどが多い。本島に見られる植生は、伊藤・川里(1984)が述べているように、タブノキ・ムサシアブミ群集と海岸低木林であるハマビワ・オニヤブソテツ群集である。周囲が海に囲まれているにもかかわらず海岸植生は乏しく、わずかにサイカイヤブマオ群落が見られる程度で、県内にふつうに見られるホソバワダン・ボタンボウフウ群集も発達していない。

本島は植生全体が、天然記念物に指定されており、外山(1970; 1980)は本島の植生について、くりかえし原始林ということばを使って説明している。しかし、神社の周辺ばかりでなく、他の地点でも人為の影響が全くない原始状態ではなく、栽培種のシホウチクや、メダケ(伊藤・

1) 〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学教育学部生物学教室

川里 (1984) はヤダケも記録しているが、確認できなかった), マダケ (伊藤・川里 (1984) はホウライチクとしているが、標本を採集していないので不明) が広がっていたり、カジイチゴも確認された。古くはかなり人が入っていたと思われる。確かに大正6年から風致・魚附き林とされたり, 昭和26年から天然記念物に指定されたりして, 伐採は免れてきたので, かなり自然状態は保たれているといえる。したがって, Ishida et al. (2004) の原生林 (照葉原生林) ではなく, 自然林 (照葉自然林) であるといえる。

以下に植生調査資料を得たタブノキ・ムササビ・アブミ群集とハマビワ・オニヤブソテツ群集の種組成と各種の優占度, 群度を示す。

・タブノキ・ムササビ・アブミ群集:

〔高木層: 15m, 65%〕タブノキ33, スダジイ22, ムクノキ21, マテバシイ21。

〔亜高木層: 8m, 50%〕ヤブツバキ22, イヌビワ22, クロキ12, ヤブニッケイ11, イヌマキ+。

〔低木層: 3m, 70%〕アオキ44, イヌマキ+2, マサキ+, イヌビワ+, ホルトノキ+, マテバシイ+, ヤブニッケイ+。

〔草本層: 0.6m, 75%〕ノシラン33, ソナレアマチャズル22, テイカカズラ12, フウトウカズラ12, テイカカズラ12, キノクニスゲ+2, ベニシダ+, ビロウ+, ツルウメモドキ+, ナンゴクウラシマソウ+, バクチノキ+, ヒヨドリジョウゴ+, シロダモ+。

・ハマビワ・オニヤブソテツ群集

〔低木層: 4m, 85%〕: ハマビワ33, トベラ22, マサキ22, オオバグミ12, ハマヒサカキ11。

〔草本層: 0.7m, 50%〕: ノシラン33, オニヤブソテツ22, フウトウカズラ12, ツワブキ+2, サイカイヤブマオ+2, ムササビ+。

### 植物相の特徴

本島に生育する植物について, 外山 (1980) は木本植物としてほぼ50種としている。また伊藤・川里 (1984) は木本類53種, 草本類54種を記録している。今回の調査で, 113種を確認した。新たに発見されたものはアオノクマタケラ



図2. 林床に多く生育するビロウの若木



図3. 葉の大きなソナレアマチャズル

ン, ソナレアマチャズル, ママコノシリヌグイ, オヤブジラミ, ヤブムラサキ, ハチジョウイチゴなどである。

分布上注目すべき植物として外山 (1970) や伊藤・川里 (1984) は北限となっている木本のビロウとアコウ, さらに外山 (1970) は草本のヒメキランソウをあげている。いずれも今回の調査で確認できた。ビロウは高木のものはほとんどなく, 亜高木のものも少ないが, 低木のものは多く (図2), 将来はビロウがかなり繁ってくると思われる。ビロウは福岡県沖の島まで, アコウは壱岐まで分布している。ヒメキランソウも旧田平町, 松浦市の海岸をはじめ, 旧大島村 (中西1987) さらに壱岐 (中西2000) でも発見されており, 佐賀県波戸岬まで分布する。アオノクマタケランは平戸島には生育地は少ないが, これ以北では佐賀県の呼子町加部島のみで, この地が1つの北限となる。ソナレアマチャズルは西南日本の沿岸部に生育し, アマチャズルよりも葉が大きく, 厚く, 光沢がある。

本島のものは特に大きく、葉の大きさが20cmほどもあり(図3)、林下に多く生育している。

### 黒子島植物目録

#### シダ植物

- イノモトソウ科・・・イシカグマ
- オシダ科・・・ベニシダ, コバノカナワラビ, オニヤブソテツ, ホソバカナワラビ

#### 裸子植物

- マキ科・・・イヌマキ

#### 被子植物

##### 双子葉植物

##### 離弁花類

- ヤマモモ科・・・ヤマモモ
- ブナ科・・・マテバシイ, スダジイ
- クワ科・・・ヤマグワ, イヌビワ, オオイタビ, アコウ
- イラクサ科・・・サイカイヤブマオ, カラムシ
- タデ科・・・ツルソバ, ギシギシ, ママコノシリヌグイ
- オシロイバナ科・・・オシロイバナ
- ツルナ科・・・ツルナ
- ナデシコ科・・・コハコベ, ツメクサ
- アカザ科・・・シロザ
- ヒユ科・・・ヒナタイノコズチ, イノコズチ
- クスノキ科・・・ヤブニツケイ, シロダモ, ハマビワ, イヌガシ, タブノキ
- アケビ科・・・ムベ
- ツヅラフジ科・・・ハスノハカズラ, アオツヅラフジ
- コショウ科・・・フウトウカズラ
- ツバキ科・・・ヤブツバキ, ヒサカキ, ハマヒサカキ
- ケシ科・・・ムラサキケマン, キケマン
- トベラ科・・・トベラ
- バラ科・・・バクチノキ, ナワシロイチゴ, カジイチゴ
- マメ科・・・スズメノエンドウ, ウマゴヤシ, カラスノエンドウ, クズ, ハマナタマメ
- カタバミ科・・・ムラサキカタバミ, カタバミ

- トウダイグサ科・・・アカメガシワ
- ミカン科・・・カラスザンショウ, ハマセンダン
- ウルシ科・・・ハゼノキ
- モチノキ科・・・モチノキ
- ブドウ科・・・ノブドウ, エビズル, ナツヅタ, ソナレアマチャズル
- ホルトノキ科・・・ホルトノキ
- グミ科・・・オオバグミ
- スミレ科・・・タチツボスミレ
- ウリ科・・・キカラスウリ
- ウコギ科・・・ヤツデ
- セリ科・・・ハマゼリ, ハマウド, オヤブジラミ
- ミズキ科・・・アオキ

##### 合弁花類

- ヤブコウジ科・・・ヤブコウジ
- サクラソウ科・・・ハマボッス
- ハイノキ科・・・クロキ
- モクセイ科・・・ネズミモチ
- キョウチクソウ科・・・テイカカズラ
- アカネ科・・・ヤエムグラ, ヘクソカズラ
- ヒルガオ科・・・ハマヒルガオ
- クマツヅラ科・・・ムラサキシキブ, ヤブムラサキ, クサギ
- シソ科・・・ヒメキランソウ, オドリコソウ
- ナス科・・・ヒヨドリジョウゴ, ヨウシュヤマゴボウ
- ゴマノハグサ科・・・フラサバソウ
- キツネノマゴ科・・・キツネノマゴ
- スイカズラ科・・・サンゴジュ, ハクサンボク, ニワトコ
- キク科・・・シマカンギク, オオアレチノギク, ベニバナボロギク, ヨモギ, ツワブキノゲシ, オオユウガギク, オニタビラコ

##### 単子葉植物

- ユリ科・・・ノシラン, ノビル, ヤブラン
- ツユクサ科・・・ツユクサ
- イネ科・・・アオカモジグサ, ススキ, ケチヂミザサ
- タケ科・・・メダケ, マダケ, シホウチク
- ヤシ科・・・ビロウ

サトイモ科・・・ナンゴクウラシマソウ，ム  
サシアブミ  
カヤツリグサ科・・・ハマスゲ，キノクニス  
ゲ，イソアオスゲ  
ショウガ科・・・アオノクマタケラン

### 引用文献

- Ishida, H., Hattori, T. and Takeda, Y. 2005. Comparison of species composition and richness among primeval, natural, and secondary lucidophyllous forest on Tsushima Island, Japan. *Vegetation Science* 22:1-14.
- 伊藤秀三・川里弘孝 1984. 黒子島植物調査報告. 平戸市の文化財19：1-5. 平戸市教育委員会.
- 伊藤秀三・真辺静男 1992. 平戸の植物天然記念物. 平戸の植物と植生. pp.71-89.
- 中西弘樹 1987. 長崎県植物誌ノート (1). 長崎県生物学会誌 (32)：62-65.
- 中西弘樹 2000. 長崎県植物誌ノート (22). 長崎県生物学会誌 (51)：61-64.
- 外山三郎 1970. 平戸島植物誌. くろこ1：7-14.
- 外山三郎 1980. 長崎県植物誌. 312pp., 長崎県生物学会, 長崎.